

Information

“キャリアアップ”と“つながる”ための情報です
気になる学会・研究会、セミナーなどに出かけよう！

日本看護技術学会 第18回学会集

日時 9月7日(土)～8日(日)

会場 アオッサ、ハピリン(福井県福井市)

テーマ 過去・現在から未来へ発信する看護のイノベーション

プログラム キーセッション1「過去・現在から未来へつなげる看護技術」上野栄一(福井大学)、2「看護技術の歴史」川嶋みどり(日本赤十字看護大学)、3「病院経営と診療報酬」大島敬子(看護職キャリアサポート、フリージア・ナースの会)、4「病院経営を担う看護師の役割と挑み」看護師が変われば病院は変わる「野中時代(桑名市総合医療センター)、5「効果的な新人教育」シミュレーション教育とPNSを活かしたOJT」黒川美幸、村田美穂(福井大学医学部附属病院看護部)、6「音楽の癒し——音楽療法」高木裕美(福井大学)、前川万紀子(福仁会病院)、奥野貴代乃(敦賀温泉病院リハビリテーション科)、栗山あき(音楽療法士)、7「看護技術と看護診断」江川隆子(日本看護診断学会理事長)、8「看護技術のイノベーション」真田弘美(東京大学大学院)、9「児童虐待と養育者支援——看護技術の未来を見据えて」友田明美(福井大

学子どものこころの発達研究センター)、10「災害多発時代にいのちを守る技術」酒井明子(福井大学)／ダイナソーセッション「日本の恐竜——移動と進化」東洋一(福井県立大学恐竜学研究所所長)／技術研究成果検討委員会企画セッション「ジェネラルナースの技術力を高めよう！ 全国キャラバン隊の結成」武田利明、大久保暢子、縄秀志、吉田みつ子、西田直子、加藤木真史ほか／ランチョンセミナー1「新人の看護技術習得へむけて——2年目看護師を活用して」明珍千恵(東北大学東北大学病院看護部)、2「生活習慣を整え、キラキラ輝く私に——ご自分に合った快眠法を見つけることで、仕事や生活の質を上げるポイント」國井修(日本快眠生活研究所)、3「第3者視点での看護評価」遠田光子(日本医療機能評価機構)、4「褥瘡予防における体圧分散の可能性を考える」四谷淳子(福井大学)／ハンズオンセッション「看護の未来を変える——エコーを用いたアセスメント技術」小淵岳恒(福井大学医学部附属病院)／一般演題(口演・示説)／卒業研究交流セッション／交流セッション

参加費 会員1万1000円、非会員1万2000円、学生2000円、懇親会5000円

問 日本看護技術学会第18回学会集事務局
〒910-1193
福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3

福井大学学術研究院医学系部門看護学領域内
✉ snast8@ml.u-fukui.ac.jp
☎ 0776-61-80544
http://right-stuff.biz/snast8/

訪問看護管理者養成研修会 体系的に学ぶ管理者の役割

日時「1期」9月12日～14日(木)土、「2期」10月23日～26日(水)土、「3期」11月14日～16日(木)土

会場 島根ビル会議室(大阪府大阪市)

対象 訪問看護ステーションでの管理者経験2年以上の者、または「訪問看護新任管理者研修会」・「訪問看護新任管理者研修会」を修了した管理者で経験1年以上の者。

※いずれも全日程参加できること
定員 40名
プログラム 「訪問看護制度論」①「制訪問看護を取り巻く度の動向」杉田塩(厚生労働省老健局老人保健課)、「看護師の特定行為研修の概要について」奥田清子(厚生労働省医政局看護課)、②「看護政策の動向と取り組み」齋藤訓子(日本看護協会副会長)、③「社会保障制度の概念と保健医療福祉政策の展望」川淵孝一(東京医科歯科大学大学院教授)「運営管理総論」①「管理者の制度的な位置づけと役割・機能」井上多鶴子(全国訪問看護事業協会)、②「看護管理概論」勝原裕美子(オフィスKATSU代表)、③「リーダーシップ論」深澤優子(R&D Nursing ヘルスケア・マネジメント研究所)

「訪問看護マネジメント論」情報管理論①「効率的運営のためのマネジメントシステム」高砂裕子(南区医師会訪問看護ステーション管理者)、②「サービスの品質管理」理事、③「サビの品質管理」新津ふみ子(ケア・コーディネーション研究所所長)、④「リスクマネジメント」高村浩(弁護士)、⑤「リスクマネジメント」宮本祥代(石心会在宅事業部統括所長)、⑥「退院支援・退院調整」宇都宮宏子(在宅ケア移行支援研究所宇都宮宏子オフィス)、⑦「グループワーク課題の整理・分析」上野桂子(聖隷福祉事業団監事、全国訪問看護事業協会副会長)「実践的経営論」①「マーケティング初級編」、②「ストラテジ初級編」、③「経営マネジメント」藤

井賢一郎(上智大学総合人間科学部社会福祉学科准教授)

「訪問看護経営・経済論」①「経営状態の把握・評価」、②「経理・財務の実際」小瀬文彰(ヘルスケア共創パートナー株式会社代表取締役)

人材管理・育成論①「人材の確保・定着・成人学習理論」奥裕美(聖路加国際大学大学院看護学研究科准教授)②「職場環境づくりとモチベーション管理」浦山絵理(ひとくり工房esuco代表)③「人材の育成」山田雅子(聖路加国際大学大学院看護学研究科教授)

④「労務管理の実際」竹中道代(社会保険労務士法人日本経営)⑤「多機能化から学ぶ人材管理」木戸恵子(訪問看護ステーションはーと)田中美樹(ステーションイルカ管理者)福本美津子(ナーシングホームもも代表者)

「訪問看護管理技術論」①「管理者の意思決定・マネジメントスキル」のケースメソッド」山田雅子(聖路加国際大学大学院看護学研究科教授)他、変更あり

参加費 会員13万円、非会員26万円

申込方法・締切 左記協会ホームページから9月2日(月)までに

問 全国訪問看護事業協会事務局 03-33351158988

03-33351159388

https://www.zenhokan.or.jp/

2019 MMIRAアジア地域会議/日本混合研究法学会第5回年次大会

日時 9月14日(土)〜16日(月・祝)

会場 静岡芸術文化大学(静岡県浜松市)

テーマ Mixed Methods Research for understanding and accommodating the world of complexity

プログラム

「14日」プレカンファレンス・ワークショップ/基調講演 Elizabeth Creaner (President of MMIRA, Professor Emerita of Virginia Tech)/パネルディスカッション(MMIRオープン・フォーラム)/ラウンドテーブル

「15日」口頭発表/特別講演 1 Cheryl Poth (University of Alberta, Past President of MMIRA) 2 Christine Davis (University of North Carolina at Charlotte)/パネルディスカッション(MMIRオープン・フォーラム)

「16日」自主企画ワークショップ/Meet the Experts/パネルディスカッション(MMIRオープン・フォーラム)/市民公開シンポジウム/ポストカンファレンス・ワークショップ

参加費 会員1万5000円、非

会員2万5000円、学生会員

7000円、学生非会員1万

5000円、懇親会5000円

参加登録方法 左記Webページより

https://jsnm5th.peatix.com/view

問 国際混合研究法学会アジア地域会議/第5回日本混合研究法学会年次大会事務局

jsnm2019@gmail.com

http://www.jsnmr.org/conference/jsnm2019/jpn

第4回国際ケアリング学会学術集会

日時 9月21日(土)〜22日(日)

会場 文京学院大学本郷キャンパス(東京都文京区)

テーマ ケアリングと家族——家族看護の実践からプログラム

「21日」教育講演「家族看護(仮)」白井雅美(東邦大学教授、田久保由美子(東京医療保健大学准教授)/ポスター展示

「22日」集会長講演 中村由美子(文京学院大学教授)/名誉会長講演 ジーン・ワトソン(コロラド大学名誉教授、日本赤十字看護大学名誉博士)/特別講演 大谷徹矢(薬師寺副執事長)/シンポジウム「多職種連携とケアリング」

イメルダ・ハビエール(パーペチュアル・ヘルプ大学)、松下博宣(東京情報大学教授)、市原真穂(千葉科学大学准教授、小児看護専門看護師)

参加費 会員・准会員3万円、非会員3万3000円、大学院生1万8000円、学生3500円、懇親会費6000円

※当日参加登録は現金のみ受付

※学生は基礎教育課程在籍中の人は所定料を減額

第24回日本糖尿病教育・看護学会学術集会

日時 9月21日(土)〜22日(日)

会場 幕張メッセ国際会議場(千葉市美浜区)

テーマ 身体から生活・人生を看る

プログラム 会長講演「身体から生活・人生を看る——成長していく子どもたちが教えてくれたこと」中村伸枝(千葉大学大学院看護学研究科)/特別講演1「越境するケア——地域の処方箋とい

う視点」飯田大輔(福祉楽団理事長)、2「A1と糖尿病療養指導」牧野真樹(藤田医科大学医学部内分泌・代謝内科学)/教育講演1「糖尿病性神経障害を診断し治療するということ——足を見て、生活・人生を看る」神谷英紀(愛知医科大学医学部内科学講座糖尿病内科)、2「生活習慣病の予防・改善を目指した時間栄養学の可能性」大石勝隆(産業技術総合研究所バイオメディカル研究部)、3「論文とは何か?——その本質から考える」平田松吾(東邦大学看護学部)、4「小児1型糖尿病治療の歴史と展望」高谷昌純(千葉大学大学院医学研究院小児病態学)、5「療養支援におけるアドバンスケアプランニング(ACP)の展開」谷本真理子(東京医療保健大学医療保健学部)/シンポジウム「見える化」して身体を看る——新たな気付きからケアへの発展 大橋優美子(東京大学医学部附属病院糖尿病看護認定看護師)、伊藤千穂(君津中央病院糖尿病看護認定看護師)、丹波光子(杏林大学医学部付属病院皮膚排泄ケア認定看護師)/ワークショップ「高齢者の身体を体系的に看る——フィジカルアセスメントの糖尿病看護への適用を考える」中山法子(糖尿病ケアサポーターオフィス診療看護師・糖尿病看護

護認定看護師)、曾根晶子(船橋市立医療センター慢性疾患看護専門看護師)、高橋弥生(聖隷佐倉市民病院・糖尿病看護認定看護師)／市民公開講座「知っていますか? 千葉県とヨウ素、千葉大学とヨード卵の関係!」ヨウ素からコレステロール、卵の健康話まで! 横山次郎(日本農産工業株式会社ヨード卵部兼畜産技術センター)／「社会の変化に即した糖尿病看護認定看護師の役割拡大」福井トシ子(日本看護協会会長、森小律恵(日本看護協会看護研修学校)／一般演題／交流集会／共催セミナー

参加費 会員9000円、非会員1万2000円、学生4000円、懇親会5000円

問 運営準備室
〒261-8550
千葉市美浜区中瀬2-1
株式会社募張メッセ内
☎043-296-0623
FAX 043-296-0529
✉ info@jaden24.jp

日本病院・地域精神医学会
日時 10月11日(金)〜12日(土)
会場 沖縄県男女共同参画センターにある、パシフィックホテル沖縄(沖縄県那覇市)

テーマ 安心して病むことのできる社会——多様性があるがままにともに歩いていくチャンプルーの島沖縄で

プログラム 大会長講演・現地報告 福治康秀(琉球病院)／特別講演「言葉は『ライフサポート』——愛楽園から『看取り』を考える」野村謙(国立療養所沖縄愛楽園園長)／沖縄大会企画「シンポジウム」[安心して病むことのできる社会は構築されたか、座談会]ともに語りともに創る 沖縄から発信するミライ、交流コーナー「現地に聞こう!」どうなのイタリアの精神保健福祉医療の実態／市民公開講座「監置小屋が問う精神保健のいまと明日」看護企画「精神科看護師の役割と課題」／一般演題／交流コーナー／夜間交流会 **参加費**

「事前登録」会員8000円、非会員9000円
「当日登録」会員9000円、非会員1万円、当事者・家族・学生2000円

事前登録方法 左記Webページの申込フォームより

事前登録・入金締切 9月10日(火)
問 第62回日本病院・地域精神医学会総会事務局
✉ 627-62th-souka@mail.hosp.go.jp
http://www.byochi.org/62th/

Movie

おすすめ
映画情報

『人生をしまう時間』

小堀嶋一郎医師と在宅医療チームに密着した200日の記録



©NHK

- ◎監督／下村幸子
- ◎プロデューサー／福島広明
- ◎撮影／下村幸子
- ◎編集／青木親帆・渡辺幸太郎
- ◎制作／NHK エンタープライズ
- ◎製作／NHK
- ◎配給／東風
- ◎公開／9月21日(土)より渋谷シアター・イメージフォーラムほか全国にて

「帰りたい、どんなボロいうちでもね」。浅海富子さん(91)がストレッチャーに乗せられて自宅に帰ってきた。「自分の枕になったよ」「お家ですよ、わかる?」。看護師や医師の呼びかけに富子さんは「わかります」と答えた。富子さんの掌には夫との思い出の写真。集まった家族は、話しかけ、目を凝らし、意思の兆しを読み取る。孫娘たちが富子さんの体をさする。医師が酸素マスクを静かに取り外す。「おばあちゃんありがとう。お疲れ様でした」。人生をしまう時間(とき)、人は、家族は、何を望むのか。

NHK BS1 スペシャルとして放送された「在宅死“死に際の医療”200日の記録」に新たなシーンを加え、

再編集をほどこした待望の映画化。番組は大きな反響を呼び、「日本医学ジャーナリスト協会賞大賞」を受賞。

自らカメラを回した下村幸子監督は、親密な距離から、いくつもの決定的な瞬間を捉え、命の終焉に立ち会う人々の微かな感情の動きを映し出していく。

「地域の在宅医療が医師だけでなく、ケアマネ、看護師やヘルパーなどが関わって、連携プレーで成り立っていることは、映画にするに当たって最も描きたいことの1つでした」

映画化によって新しく加えられたシーンでは、訪問看護師たちの見事な連携が見える。